

法遍寺 から大切な 皆様へ

2019年1月1日

日蓮正宗 年間方針

勇躍前進の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

人材育成

勇猛果敢の折伏

年間実践テーマ

① 勤行・唱題で折伏推進

誓願達成

罪障消滅

② 講中一結で御講参詣

異体同心の団結

折伏成就

③ 登山参詣で育成推進

心身浄化

功德无量

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(TEL:0561-54-9226)

相談無料



2018年12月9日 御報恩御講の様子



慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について

住職 近藤道正

法遍寺は静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となつて、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ

法華経の譬喩品にある「三車火宅の譬え」という説話は、長者の家が火事になり、中で遊んでいた子供を長者が門外にある三車(羊車・鹿車・牛車)を与えんと言つて助け出し、実際には果てしなく大きな大白牛車(ダイヤクゴシヤ)を与えたというお話です。三車とは三人の心の器が違う声聞・縁覚・菩薩(三乗)の人を言います。大白牛車は成仏(一乗)の境界。子供は私たち一切衆生つまり人間です。私たちは、煩惱を中心とする固執した概念で生きており、仏様の廣大無辺の心持ちを知ることができません。私たちの知らないことを覚(サト)らせ、私たちの知らない実相を教えるのが仏の教えです。大白牛車に乗って遊ぶ、すなわち寿量品文底の大御本尊を信仰して即身成仏することが仏の真実の慈悲と知り、御本尊に真剣に臨む唱題と折伏をもって自らの徳とし幸福を築きましょう。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ

池田大作は、正本堂建立を機に宗門に根強い反感を抱くと同時に、「学会は主、宗門は従」との本末転倒の考えをもとに、宗門支配を画策していきました。日蓮正宗の教義信仰から次第に逸脱し、ついには御法主上人の御身に具わる御本尊の権能を無視し、紙幅の御本尊を勝手に板御本尊に模刻するという大謗法を犯すに至ったのです。これが創価学会の「52年教義逸脱問題」です。「山崎・八尋文書」(昭和49年4月)には「一つは、本山とはいづれ関係を清算せざるを得ないから、学会に火の粉がふりかからない範囲で、(中略)いつでも清算できるようにしておく方法であり、いま一つは、長期にわたる本山管理の仕掛けを今やっておいて背後を固めるという方法です」とあります。池田創価学会の根本邪想を知ってください。お待ちしております。

③ 正しい宗教に関心のある皆様へ

世の中の占いと称する中に、「家相」「墓相」があります。これは家や墓地の位置・方角・構造などから、その吉凶を占うというものです。しかしここに因果関係や科学的根拠はまったくありません。現在の住宅事情からみれば、占いでいう条件を充たすことも不可能です。仏法では「依正不二」という法門が説かれています。簡単にいうと正報(中心)となる人間と、その正報によって影響される依報(環境世界)とが一体だということです。要するに家や墓などは正報たる私たちの心や人格がそのまま反映する依報の一分なのです。仏の真実の教えである妙法を信受し、福德を身にそなえ精進するとき、はじめて依・正のうえに仏の徳と諸天の加護が纏(マ)うことを知ってください。ご来寺をお待ちしております。